

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	施設管理事務費	事業開始年度	昭和50年度	作成責任者		
担当部局庁	国立医薬品食品衛生研究所	担当課室	総務部会計課	課長 齋藤 匡人		
会計区分	一般会計	上位政策	—			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国立医薬品食品衛生研究所は、国民の健康と生活環境を維持向上させるために必要な試験・調査や研究を行っているが、当所の研究機能を維持するため施設管理に必要な業務を行う。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	医薬品・医療材料や食品のほか、生活環境中に存在する多くの化学物質について、その品質、安全性及び有効性を正しく評価するための試験・研究を行うため、研究所の施設全体の補修・管理、また緑化等に係る施設整備に必要な事務経費					
実施状況	国立医薬品食品衛生研究所の施設のうち、実験動物の飼育管理を行う動物庁舎における管理等を行った。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	25	25	25	25	24
	執行額	25	25	25		
	執行率	100%	100%	100%		
	総事業費(執行ベース)	25	25	103		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	医薬品等の安全性・有効性を確保するため実施する各種試験・研究は高度の信頼性が確保され、かつ、継続的に行なわれなければならないため、当所のような試験研究機関における実験動物の飼育管理実績があり、研究業務に支障をきたすことがない者を選定している。				
	見直しの余地	当研究所において、各種試験・研究は高度の信頼性を確保しつつ、より、効率的な運営に向けて総合評価方式の導入検討など適正な公共調達により、より一層の経費の効率化を図ることとする。				
予算チームの所見・効率化	一部改善(事業を一部見直し、概算要求に反映) 執行の観点からは概ね妥当であるが、実験動物飼育管理費について精査を行い、効率的な執行に努めること。					
補記						

国立医薬食品衛生研究所  
25百万円



【随意契約】

A. 三協ラボサービス(株)  
25百万円

〔実験動物飼育管理業務〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

A.三協ラボサービス(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
施設管理事務費	実験動物飼育管理費	25			
計		25	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)